

科目名称	英語コミュニケーションB/II①⑥		授業コード	10106045
担当教員	安田 有紀子			
単位数	2	授業形態	講義	科目分類 外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期 前期
関連資格				

対面・遠隔の別	遠隔・リアルタイム混合			
遠隔の場合の主なツール	1) オンデマンドの場合、OneDrive 内に授業ビデオを入れます。 2) リアルタイムの場合、Zoom を利用して授業を行います。			
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照			
授業の目的と到達目標（学習成果）	海外生活での具体的な場面を想定した授業で、衣食住の様々な状況で適切な英会話ができるようになる。またその状況の中で必要な情報を得るためだけでなく、円滑なコミュニケーションを通じて、よりよい人間関係を作り上げることができる。さらに相互尊重の視点から、異文化と自国文化を比較できるようになる。(以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ) この授業では、神戸芸術工科大学2年生が1年間アメリカに留学するという設定で、現地での生活において出会う可能性のある慣用語、会話独特の言い回しなどを含めた語彙力、表現力を向上させ、英語コミュニケーション能力を高める。留学生活を通して出会うさまざまな人間関係の中で起こりうる場面を想定したトピックを取り上げ、それらの状況に応じた会話表現を使えるようにする。			
授業の概要（内容）	設定された場面で必要となる会話表現を何度も繰り返し発話練習することで、表現の定着を図る。また、自分のことについて様々な内容を話すことができるようになるために、ペアワーク、グループワークを用いて1~2分程度の簡単なプレゼンテーションを毎時授業初めに行う。			
授業計画	1: Orientation (授業の概要、成績評価、授業中の注意点等について説明する。教室英語を学ぶ) 2: Talking about yourself (自己紹介とスモールトークができるようにする。) 3: Scheduling (時間・曜日など日程を表す表現を学び、予定の調整をする。) 4: Planning a birthday party (1) (友人の誕生日会を計画する。アイデアを伝える。) 5: Planning a birthday party (2) (誕生日会に友人らを招待する。) 6: Having a party (誕生日会の会場で初対面の相手同士を紹介したり、話題を提供する。) 7: Intercultural experience (異文化学習-1) 8: Giving & Receiving advice (悩みを相談したり、相手にアドバイスする。) 9: Agreeing & disagreeing (相手の意見に同意したり、反論する。) 10: Talking about preferences (好みについて理由を添えて話す。) 11: Japan Day on campus (1) (留学中に紹介したい日本文化についてリサーチ) 12: Japan Day on campus (2) (留学中に紹介したい日本文化について発表) 13: Intercultural experience (異文化学習-2) 14: Recommendations (2) (休暇中に行って欲しい場所を紹介する。) 15: Review ((後期で学んだ表現の総復習及びロールプレイで発表する。))			
実務経験のある教員				
授業時間外学習	課題を1週間前に出すので必ずやっておくこと。授業は課題が完成していることを前提に行う。			
評価方法	授業内評価：小テスト 50% 授業外評価：宿題・課題 50%			
課題・試験に対するフィードバックの方法	授業中に行う小テストは授業時間中に答え合わせをする。 提出された課題については、教員が確認し後日学生に返却する。			
使用テキスト	授業中にプリントを配布する。			
参考テキスト・URL	授業内で紹介する。			
各自準備物	電子辞書を持参すること。			
実習費				
その他	1. 授業内容についてはクラス毎の震度等により調整する場合がある。 2. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なおリアルタイム型授業での遅刻30分以上は欠席扱いとする。 3. 積極的なGlobal Caf?の利用・英語による/英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 4. その他詳細は担当講師より指示する。			

科目名称	英語コミュニケーションB/II②③⑤		授業コード	20206045	
担当教員	MACAULEY MYLES				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（リアル・オンデマンド混合）
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル、Zoom
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照
授業の目的と到達目標（学習成果）	海外生活での具体的な場面を想定した授業で、衣食住のさまざまな状況で適切な英会話ができるようになる。またその状況の中で必要な情報を得るためだけでなく、円滑なコミュニケーションを通じて、よりよい人間関係を作り上げることができる。さらに相互尊重の視点から、異文化と自国文化を比較できるようになる。（以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ） この授業では、学生たちは、授業で設定された様々な状況下でのロールプレイ、タスク、シミュレーション、プレゼンテーションを体験し、慣用句、会話独特の言い回しなどを含めた語彙力、表現力を向上させ、英語のコミュニケーション能力を高める。 学習した役立つ表現と単語をさまざまな場面で自信をもって話せるようにする。
授業の概要（内容）	日常生活の中でさまざまな場面において英語のコミュニケーション能力を高めることを目的とする。 この授業では主に話す事と聞き取ることを中心とした活動を行って行く。 実用的な英語コミュニケーションに役立つ表現と単語を身につけて行く。
授業計画	1: Orientation; Getting to know each other 2: Talking about yourself and experiences 3: Talking about modern Japanese culture: manga and anime 4: Shopping for souvenirs 5: Talking about people in your life; families 6: Talking about technology in your life 7: Talking about problems and giving advice 8: Talking about favourite hobbies and interests 9: Talking about feelings and opinions 10: Talking about studying abroad: benefits and possible problems 11: Asking for and giving suggestions 12: Comparing customs 13: Talking about wishes and possibilities 14: Talking about future plans 15: Review
実務経験のある教員	
授業時間外学習	授業後に学習内容を必ず復習し、語彙・表現を再確認すること。
評価方法	授業内ロールプレイ&スピーキング & 提出物 75% ; 授業内小テスト 25%
課題・試験に対するフィードバックの方法	
使用テキスト	教材は授業でプリントを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	辞書または電子辞書を持参すること
実習費	
その他	1. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なおリアルタイム型授業での遅刻30分以上は欠席扱いとする。 3. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 4. その他詳細は担当講師より指示する。 5. 「基礎英語Ⅰ」のBまたはCクラスを修了した学生の履修が望ましい。

科目名称	英語コミュニケーションB/II④		授業コード	20406045	
担当教員	ラッタ 政美				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（リアル・オンデマンド混合）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール、Zoom				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p>海外生活での具体的な場面を想定した授業で、衣食住のさまざまな状況で適切な英会話ができるようになる。またその状況の中で必要な情報を得るためだけでなく、円滑なコミュニケーションを通じて、よりよい人間関係を作り上げることができる。さらに相互尊重の視点から、異文化と自国文化を比較できるようになる。（以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ）</p> <p>この授業では、神戸芸術工科大学2年生が1年間アメリカに留学するという設定で、相手を褒める、感謝の意を表す、励ます、アドバイスを受ける／与える、意見を述べるなど人間関係を豊かにする英語表現を習得し、状況に応じて適切に自由に使えるようにする。</p>				
授業の概要（内容）	<p>学生たちは、オンデマンド型の授業で、会話独特の言い回しを学び、リアルタイム型授業では、ロールプレイ、タスク、シミュレーション、プレゼンテーションを通して何度も発話することで、学んだ表現を脳に定着させ、意識せずに必要な表現が覚えられるようにする。</p>				
授業計画	<p>1：Orientation（授業のねらい、授業中の注意点・取り組み方、テキストの内容、予習・復習の方法などを説明する。）</p> <p>2：Talking about Japanese Food（今話題の和食を英語で説明する）</p> <p>3：Making Shopping List（食材を使って可算・不可算名詞を復習する。）</p> <p>4：Doing Grocery Shopping（食材の買い物シミュレーションする。）</p> <p>5：Cooking（ホストファミリーに和食を振る舞う設定で料理の過程をシミュレーションする。）</p> <p>6：Choosing from the Menu（レストランでメニュー読み、注文する過程をシミュレーションする。）</p> <p>7：Intercultural Experience？（ハロウィーンについて学ぶ。）</p> <p>8：Praising（人間関係を円滑にする「褒める」英語表現を学び練習する。）</p> <p>9：Thanking/ Responding to Gratitude（お礼を言う、謝意に応える英語表現を学び、練習する。）</p> <p>10：Giving/Receiving Advice & Encouragement（悩みを相談する、相手の問題にアドバイスし、励ます。）</p> <p>11：Intercultural Experience？（サンクスギビングについて学ぶ。）</p> <p>12：Expressing Opinions（さまざまなトピックで自分の意見とその理由を言い表す。）</p> <p>13：Agreeing & Disagreeing（相手の意見に理由を述べながら同意する、反論する。）</p> <p>14：Intercultural Experience？（クリスマスについて学ぶ。）</p> <p>15：Review（与えられた状況で英語の会話を作り、ロールプレイで発表する。）</p>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。				
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点(60%)とリアルタイム授業の進行に関する発言・発表などの積極性や貢献度(40%)を合わせて評価の対象とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については採点し、コメントをKDUポータルクラスプロフィールで公開する。				
使用テキスト	教材はすべてプリントを使用し、KDUポータルクラスプロフィールを通じて配布する。				
参考テキスト・URL	授業内で随時紹介する。				
各自準備物	授業中特別な場合を除き辞書はいつでも使えるので、電子辞書を用意するように。				
実習費					
その他	<p>1. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。</p> <p>2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なおリアルタイム型授業での遅刻30分以上は欠席扱いとする。</p> <p>3. 積極的なGlobal Cafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。</p> <p>4. その他詳細は担当講師より指示する。</p> <p>5. 「基礎英語IA」の単位修得が前提。</p>				

科目名称	表現のための英語 A / I ①③⑥			授業コード	10106053
担当教員	岡村 光浩				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p>英語をコミュニケーションツールとして発信するプロダクトとして、CM、映画、ドラマなどのテレビ番組の映像、その他デザイン、アートの世界、文学、音楽などを教材として使用し、どのように英語が表現され、発信されているかを学ぶ。そしてこれらの方法が自分たちの作品制作や表現活動にどのように応用できるかを考える。（以上『表現のための英語』全クラスの共通テーマ）</p> <p>このクラスでは、実際に現場で働いている経験者たちの声を聞くことで、英語の受信と発信技能を高めると同時に、自分自身のキャリアデザインを考える機会を持つ。</p>				
授業の概要（内容）	<p>DVD を観ながらキャリアデザインに関して英語で学べる教材を使用し、各分野のプロフェッショナルの声を直接聞きながら、仕事内容を知ると同時に、各職場で求められている能力や資質、仕事におけるチャレンジとやり甲斐を知る。またグローバル人材として働くための準備の仕方や、大学生として将来必要なキャリア形成についても、英語で学びながら考えていきたい。</p>				
授業計画	<p>1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 2: Advertising Sales Agent (1) Vocabulary ~ Viewing 3：Unit 2: Advertising Sales Agent (2) Comprehension ~ Practice 4：Unit 7: Fashion Designer (1) Vocabulary ~ Viewing 5：Unit 7: Fashion Designer (2) Comprehension ~ Practice 6：Unit 11: Interior Designer (1) Vocabulary ~ Viewing 7：Unit 11: Interior Designer (2) Comprehension ~ Practice 8：Unit 12: Video Editor (1) Vocabulary ~ Viewing 9：Unit 12: Video Editor (2) Comprehension ~ Practice 10：Unit 13: Desktop Publishing (1) Vocabulary ~ Viewing 11：Unit 13: Desktop Publishing (2) Comprehension ~ Practice 12：Unit 14: Event Planner (1) Vocabulary ~ Viewing 13：Unit 14: Event Planner (2) Comprehension ~ Practice 14：Unit 15: Photographer (1) Vocabulary ~ Viewing 15：Unit 15: Photographer (2) Comprehension ~ Practice</p>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	<p>毎授業相当日にオンラインで課題を出す。テキストの動画は、DVD が付属しているので、事前によく見ておくこと。不確かな文法事項や・語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム {https://goo.gl/RvBW69} に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する。 その他の課題については担当講師より指示する。</p>				
評価方法	<p>・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 ・Optionalの課題がある場合は、加点する。 ・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。 ※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム {https://goo.gl/RvBW69} に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する。</p>				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。 「リンガポルタ」のフィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。</p>				
使用テキスト	塩見佳代子ほか『Career Design on DVD』成美堂、2015年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP、その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	<p>・英和/和英辞典?コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（?修館）等 ・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利?可能な環境）</p>				
実習費					

その他	<ol style="list-style-type: none">1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。2. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関連したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。5. その他詳細は各担当講師より指示する。 <p>※コロナ禍対応のため遠隔授業で実施の予定。 学年始めに配布される時間割から授業日（配信曜日・時限）が変更される可能性がある。 また新型コロナウイルス感染症の流?状況により学期途中で方針が変更される可能性もあるので、担当講師からの連絡には常に注意すること。</p>
-----	---

科目名称	表現のための英語 A/ I ②④			授業コード	10206053
担当教員	小橋 薫				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語をコミュニケーションツールとして発信するプロダクトとして、CM、映画、ドラマなどのテレビ番組の映像、その他デザイン、アートの世界、文学、音楽などを教材として使用し、どのように英語が表現され、発信されているかを学ぶ。そしてこれらの方法が自分たちの作品制作や表現活動にどのように応用できるかを考える。（以上『表現のための英語』全クラスの共通テーマ） このクラスでは、ライティングの基礎の学習と時事英語などの動画をもとに、英文エッセイなどによる自己表現力が習得できる。				
授業の概要（内容）	この授業では、遠隔によるオンデマンド形式を採用し、テキストに沿って基礎的な英語のライティング知識を学習するとともに、時事英語やプレゼンテーション動画を視聴しながら、国際社会における自己表現の能力の向上を目指す。テキストは必ず購入すること。				
授業計画	1 : 授業方針説明と Self-Introduction 2 : 時事英語やプレゼンテーション動画による英語表現 3 : Conclusion / Reasons 4 : Social Trend 5 : Result / Cause 6 : Several Explanation 7 : Comparison 8 : Which do you like better? 9 : For and Against 10 : History 11 : Definition of a New Word 12 : Research 13 : New Products 14 : Reading Graphs 15 : Explain Your Own Project				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	テキストの予習、復習とともに、時事英語サイトの視聴など、毎授業相当日にオンラインで課題を出す。				
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントをKDUポータルで公開する。				
使用テキスト	『構造で書く英文エッセイ』＜初級編＞ 石谷由美子著 南雲堂				
参考テキスト・URL	参考URLは、適時KDUポータルより紹介する。				
各自準備物	テキスト、英和・和英辞典				
実習費					
その他	1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。 2. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。 4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 5. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	表現のための英語 A/ I ⑤		授業コード	20506053	
担当教員	アラル・ケンザ宝				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格					

対面・遠隔の別					
遠隔の場合の主なツール					
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p>英語をコミュニケーションツールとして発信するプロダクトとして、CM、映画、ドラマなどのテレビ番組の映像、その他デザイン、アートの世界、文学、音楽などを教材として使用し、どのように英語が表現され、発信されているかを学ぶ。そしてこれらの方法が自分たちの作品制作や表現活動にどのように応用できるかを考える。（以上『表現のための英語』全クラスの共通テーマ）</p> <p>このクラスでは、英語の歌を使って、英語を楽しく学習しながら、海外事情や異文化の理解を深めてもらいたい。この授業では、以下を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で自分の言いたいことを表現できる。 2. 海外旅行で使える英語を習得できる。 3. 新しい価値観や文化を習得できる。 4. 正しい発音を習得できる。 				
授業の概要（内容）	<p>音楽や映像などを用いて、英語力の向上を目的とする。</p> <p>また、授業内において英語を用いたコミュニケーションを行い、英会話を楽しみながら、より良い人間関係を構築する術を学ぶ。</p> <p>この授業は積極的に授業に参加し発言する事が求められる。座って聞くだけの座学の授業ではないので注意すること。知らない人たちと話すことで、新たな交友を広げたいと思う学生であれば誰でも歓迎する。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1：オリエンテーション 2：発音練習(1) 3：発音練習(2) 4：発音練習(3) 5：発音練習(4) 6：発音練習(5) 7：発音テスト、小テスト1 8：視聴覚教材1、発音の練習 9：視聴覚教材2、発音の練習 10：視聴覚教材3、発音の練習 11：小テスト2 12：視聴覚教材4、発音の練習 13：視聴覚教材5、発音の練習 14：視聴覚教材6、発音の練習 15：最終テスト、まとめ 				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	課題は必ず毎回やっておくこと。各自練習をして参加することを前提に授業を行う。				
評価方法	授業参加、提出課題、感想、小テスト、発音テスト（以上で70%）、授業内試験〔授業で使った教材を利用〕（30%）によって、総合的に評価する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	授業時間内にフィードバックを行う。				
使用テキスト	なし。資料は授業にて配布する。				
参考テキスト・URL					
各自準備物	電子辞書、携帯（スマートフォンが望ましい）、QRコードリーダー（携帯アプリ）、USBメモリ				
実習費					
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。 2. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 5. その他詳細は各担当講師より指示する。 				

科目名称	表現のための英語 B/II①		授業コード	10106033	
担当教員	岡村 光浩				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p>英語をコミュニケーションツールとして発信するプロダクトとして、CM、映画、ドラマなどのテレビ番組の映像、その他デザイン、アートの世界、文学、音楽などを教材として使用し、どのように英語が表現され、発信されているかを学ぶ。そしてこれらの方法が自分たちの作品制作や表現活動にどのように応用できるかを考える。（以上『表現のための英語』全クラスの共通テーマ）</p> <p>このクラスでは、新形式の TOEIC テストの問題に慣れ、スコア UP のためのコツを身につける。必要に応じ、英語コミュニケーション能?の基礎となる、英単語や英文法の基礎的な知識を確認する。</p>				
授業の概要（内容）	TOEIC 入門レベル総合テキストの学習を通じて、TOEIC の概略を掴む練習を徹底的に行うと共に、実践的な日常英語を身に付ける。				
授業計画	<p>1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他）</p> <p>2：Unit 1: Restaurants（文法事項：人称代名詞）</p> <p>3：Unit 2: Entertainment（文法事項：不定代名詞）</p> <p>4：Unit 3: Business（文法事項：再帰代名詞）</p> <p>5：Unit 4: Office（文法事項：現在完了形）</p> <p>6：Unit 5: Telephone（文法事項：動詞【主語と動詞の一致】）</p> <p>7：Unit 6: Letters & E-mails（文法事項：形容詞）</p> <p>8：Unit 7: Health（文法事項：前置詞【時・期間】）</p> <p>9：Unit 8: The Bank & The Post Office（文法事項：前置詞【所属・関連】）</p> <p>10：Unit 9: New Products（文法事項：数量形容詞）</p> <p>11：Unit 10: Travel（文法事項：自動詞と他動詞）</p> <p>12：Unit 11: Daily Life（文法事項：自動詞と他動詞）</p> <p>13：Unit 12: Job Applications（文法事項：比較）</p> <p>14：Unit 13: Shopping（文法事項：受動態）</p> <p>15：Unit 14: Education（文法事項：接続詞【相関接続詞】）</p>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	<p>毎授業相当日にオンラインで課題を出す。不確かな文法事項や語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。</p> <p>なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム {https://goo.gl/RvBW69} に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する。</p> <p>その他の課題については担当講師より指示する。</p>				
評価方法	<p>・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。</p> <p>・Optionalの課題がある場合は、加点する。</p> <p>・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。</p> <p>※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム {https://goo.gl/RvBW69} に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する。</p>				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。</p> <p>「リンガポルタ」のフィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。</p>				
使用テキスト	吉塚 弘、Graham Skerritt『Best Practice for the TOEIC L&R Test -Basic-』成美堂、2021年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	<p>・英和/和英辞典?コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（?修館）等</p> <p>・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利?可能な環境）</p>				
実習費					

その他	<ol style="list-style-type: none">1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。2. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関連したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。5. その他詳細は各担当講師より指示する。 ※コロナ禍対応のため遠隔授業で実施の予定。 ?学年始めに配布される時間割から授業?（配信曜
-----	--

科目名称	表現のための英語 B/II②③			授業コード	20206033
担当教員	小橋 薫				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語をコミュニケーションツールとして発信するプロダクトとして、CM、映画、ドラマなどのテレビ番組の映像、その他デザイン、アートの世界、文学、音楽などを教材として使用し、どのように英語が表現され、発信されているかを学ぶ。そしてこれらの方法が自分たちの作品制作や表現活動にどのように応用できるかを考える。（以上『表現のための英語』全クラスの共通テーマ） このクラスでは、日常やビジネスにおける英会話の理解力と、小論文などによる自己表現力を習得する。				
授業の概要（内容）	この授業では、オンデマンド形式を採用し、ニューヨークのファッション業界を舞台とする映画を使用し、ビジネスの世界におけるリスニング力・語彙力と、自己表現の能力の向上を目指す。 特に前半 においては、ビジネス場面の語彙の習得、後半においては自己表現力向上の為のエクササイズが課題の中心となる。				
授業計画	1 : 授業方針説明と Self-Introduction 2 : 時事英語を元にした英語表現 3 : Andy Meets Miranda 4 : Andy's First Day at Runway 5 : Miranda, the Almighty 6 : Andy's Metamorphosis 7 : Andy Performs a Miracle 8 : Andy's Stock Goes Up 9 : Andy's Dilemma 10 : A Night in Paris 11 : A Plot against Miranda 12 : Andy's Final Choice 13 : Review + Essay Writing 14 : Learn English through movies 15 : Let's try a lecture				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	テキストの語彙問題の予習、設問の理解、前回の授業までのストーリーに関するスクリプトの読解などを通して、語彙力、表現力の習得を目指すこと。 毎授業相当日にオンラインで課題を出す。				
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントをKDUポータルで公開する。				
使用テキスト	映画総合教材『ブラダを着た悪魔』/Aline Brosh McKenna 著 神谷久美子 Kim R. Kanel 編著:松柏社				
参考テキスト・URL	毎回の授業資料で提示します。				
各自準備物	テキスト、英和・和英辞典は必ず持参のこと。				
実習費					
その他	1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。 2. 授業内容についてはクラス毎の進捗等により調整する場合がある。 3. 欠席（＝課題の未提出）は原則4回まで（予備登録期間含む） 4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 5. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	現代英語 ①②	授業コード	10106231
担当教員	岡村 光浩		
単位数	2	授業形態	講義
年次	2	開講年度	2021
関連資格	教職	科目分類	外国語/コミュニケーション
		開講学期	前期/後期

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)
履修制限等	予備登録実施
授業の目的と到達目標（学習成果）	様々な話題を採り上げた記事を読んでいくことを通じて、作品制作や表現活動について英語で見聞きし語するための「引き出し」を増やすことを目指す。
授業の概要（内容）	アート＆デザインに関する話題を含む時事的な内容を採り上げた教材を通じて、関連する語彙や表現・文法事項を学習すると共に、英語によるコミュニケーション力の向上を図る。
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Lesson 1: Emojis (1) Listening 3：Lesson 1: Emojis (2) Reading / Discussion 4：Lesson 2: Robots (1) Listening 5：Lesson 2: Robots (2) Reading / Discussion 6：Lesson 3: Shopping (1) Listening 7：Lesson 3: Shopping (2) Reading / Discussion 8：Lesson 5: Pop vs Traditional Culture (1) Listening 9：Lesson 5: Pop vs Traditional Culture (2) Reading / Discussion 10：Lesson 9: Old and New (1) Listening 11：Lesson 9: Old and New (2) Reading / Discussion 12：Lesson 13: Japanese Interpretation of Foreign Customs (1) Listening 13：Lesson 13: Japanese Interpretation of Foreign Customs (2) Reading / Discussion 14：Lesson 16: Local Food (1) Listening 15：Lesson 16: Local Food (2) Reading / Discussion
実務経験のある教員	
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。テキストの動画は教科書会社の Web サイトから視聴できるので、事前によく見ておくこと。不確かな文法事項や・語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する。 その他の課題については担当講師より指示する。
評価方法	・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 ・Optionalの課題がある場合は、加点する。 ・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。 ※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する。
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。 「リンガポルタ」のフィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。
使用テキスト	宍戸 真ほか『AFP World News Report 4』成美堂、2018年
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP、その他各担当講師より指示する。
各自準備物	・英和／和英辞典?コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（?修館）等 ・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利?可能な環境）
実習費	

その他	<ol style="list-style-type: none">1. 「基礎英語 I」の単位修得が前提である。2. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。4. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。5. その他詳細は各担当講師より指示する。 ※コロナ禍対応のため遠隔授業で実施の予定。 <p>学年始めに配布される時間割から授業日（配信曜日・時限）が変更される可能性がある。 また新型コロナウイルス感染症の流行状況により学期途中で方針が変更される可能性もあるので、担当講師からの連絡には常に注意すること。</p>
-----	---